

宝生会 月並能

二〇一九年九月八日(日)

開演 十四時
開場 十三時十五分
於 宝生能楽堂

演目の解説

14:00

江口

渡邊 茂人
ツレ水上 優
シテ小林与志郎

ワキ 高井 松男

大鼓 安福 光雄
小鼓 観世新九郎

ワキツレ 大日方 寛
野口 能弘
間 山本 則重

大坪喜美雄
三川 淳雄
龜井 保雄
東川 光夫

笛 一噌 庸二

16:00

鎌腹

後見

前田 尚廣
金井 雄資
小倉伸二郎

地謡

龜井 雄二
和久莊太郎
小林 晋也
山内 崇生

大坪喜美雄
三川 淳雄
龜井 保雄
東川 光夫

山本 則俊

山本 則重
若松 隆

16:40

鶴

シテ藤井 雅之

ワキ 福王 和幸

大鼓 亀井 実
小鼓 住駒 匡彦

太鼓 桜井 均
笛 寺井 義明

間 若松 隆

後見 宝生 和英
大友 順

地謡

澤田 宏司
高橋 憲正
小倉健太郎
野月 聡

朝倉 俊樹
田崎 隆三
武田 孝史
高橋 亘

へ 休憩 十五分

終演予定 十七時四十分頃

旅の僧が、江口(えぐち)の里にやま
す。昔、法師がこゝに宿を借りて
ず。女は、その時、若くは、正しく
め。自ら、消え、口を断り、女を
明。か、自ら、消え、口を断り、女を
夜。か、自ら、消え、口を断り、女を
浮。か、自ら、消え、口を断り、女を
神。々、自ら、消え、口を断り、女を
人。生、自ら、消え、口を断り、女を
賢。菩薩の姿を嘆き舞、象にい、乗
に。去つて行きます。

狂言「鎌腹」(かまばら)
妻が棒(おおこ)を振り上げて、夫を
追。つて、仲裁人が理由を聞く、夫を
夫。は、仕事もせず、山へ薪(たきぎ)を取
い。男は、殺さない、死ぬ、と言、取
は。夫の太刀に鎌も死ぬ、と言、取
る。夫の太刀に鎌も死ぬ、と言、取
侮。辱に耐えるより、死んだら、妻
と。自。殺を決意、わし、女の、さ、か
根。も。あり、妻は、わし、の、さ、か
な。描写。

芦屋の里で宿を借り、物を出した僧は、
の。人。も。無。住。の。堂。に。け。よ。出。した。僧。は。
れ。な。が。言。つ。た。退。現。の。問。答。を。告。げ。
夜。里。の。言。つ。た。退。現。の。問。答。を。告。げ。
て。自。ら。源。明。か。で。し。退。現。の。問。答。を。告。げ。
空。の。雲。に。猪。早。太。で。し。退。現。の。問。答。を。告。げ。
ち。落。さ。れ。ず。早。太。で。し。退。現。の。問。答。を。告。げ。
射。落。さ。れ。ず。早。太。で。し。退。現。の。問。答。を。告。げ。
淀。川。に。流。さ。れ。た。有。様。お。語。つ。て。入。ら。れ。行。き。
ま。す。

次回予告

二〇一九年十月十三日(日)
十四時始

六 浦 宝生 和英

自然居士 今井 泰行

文化庁文化芸術振興費補助金
(劇場・音楽堂等機能強化推進事業)
独立行政法人日本芸術文化振興会

